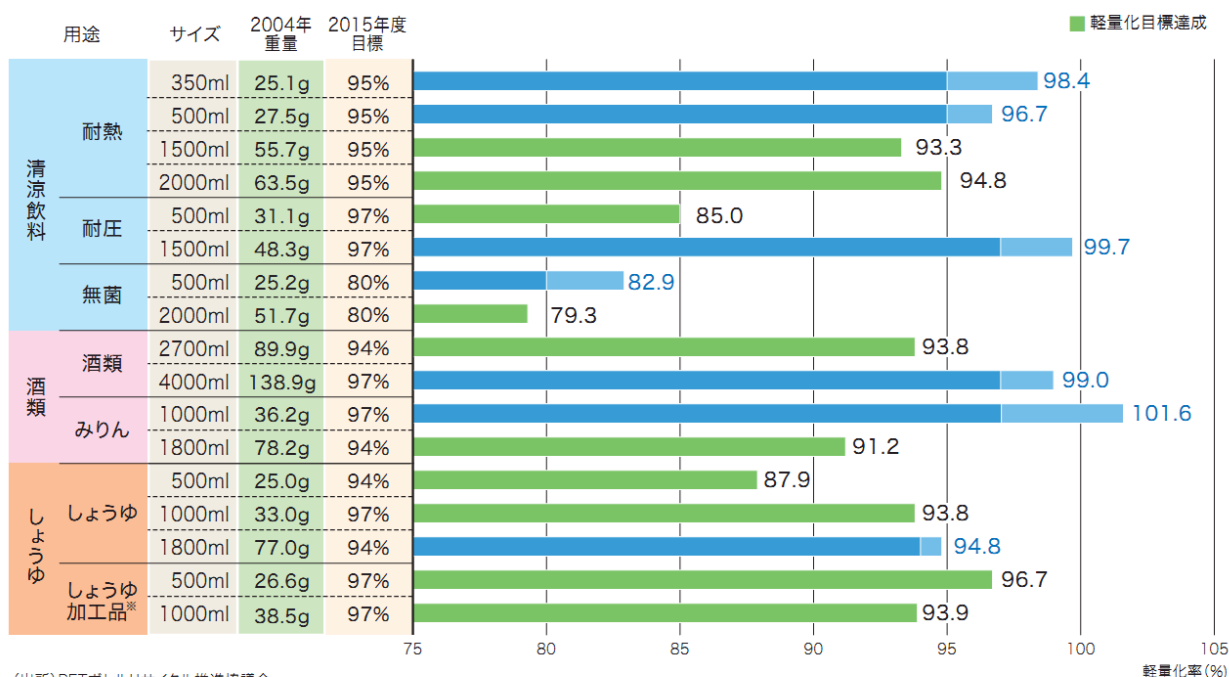


## 2. PET ボトル

### ■リデュースへの取り組み成果

2011年度のボトル軽量化は、主要17品種ごとに目標値を設定した中での10容器で、目標を達成する大きな成果が得られました。特に、耐圧500mlで15%、無菌500mlで17%、2Lで21%と3種ボトルの軽量化が顕著でした。さらにこれらボトルの販売増が加わり軽量化効果の増大に貢献し、2011年度は、削減効果量が計画を21.8千トン上回る68.7千トン、軽量化率10.5%を達成しました。



サイズ・用途別 PET ボトル軽量化目標と実績 (2011年度)

### PET ボトル軽量化事例



**サントリー株式会社**  
 サントリー天然水550ml  
 ボトル重量13.5g  
 (従来品21.4g)



**キッコーマン株式会社**  
 しょうゆ 1L  
 ボトル重量29g  
 (従来品33g)



**アサヒ飲料株式会社**  
 おいしい水 富士山/六甲 PET2L  
 ボトル重量32g  
 (従来品44.4g)



**日本コカ・コーラ株式会社**  
 コカ・コーラ500ml PETボトル  
 ボトル重量24g  
 (従来品31g)

## ■リユースに近いボトル to ボトル(BtoB)への取り組み

PET ボトルはリユース容器には適しません、リサイクル工程の汚染除去能力を高めることにより、飲料食品用途の PET 樹脂に再生でき、B to B というリユースに近い水平リサイクルが実現しています。B to B の手法には化学的再生法と物理的再生法があり、どちらも安全性に問題のないことを認定する仕組みが整っています。

2011 年度からはメカニカルリサイクル B to B（物理的再生法）による商品導入が開始されました。2011 年度の B to B リサイクル 24.6 千トンの内、メカニカルリサイクル 0.5 千トンです。



PET ボトルから PET ボトルへの再生（B to B）の取り組み

## ■国内具体的製品カテゴリー別 再生フレーク使用量調査を実施

PET ボトルが、国内にて具体的に何にどれ位の量がリサイクルされているのかという疑問に答えるべく、2008 年度より繊維やシートといった用途からさらに具体的な製品カテゴリーに分けて調査を行っています。



自動車内装材（自動車関連）



カーペット（インテリア）  
具体的製品例



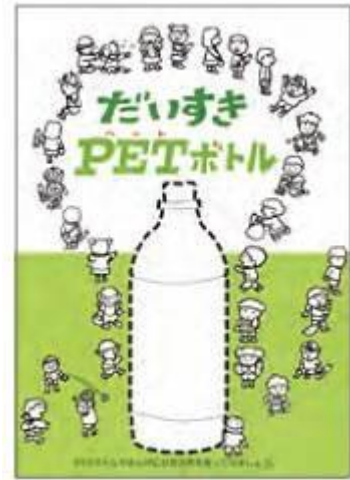
防草シート（土木資材）

## ■広報活動の推進～啓発ツールの提供

小学生の環境教育用啓発 DVD「知ってほしいペットボトルのこと」や、冊子「だいすき PET ボトル」などを用意するとともに、全国のリサイクルプラザなどにポスターや再利用用品を提供しています。



「知ってほしいペットボトルのこと」



「だいすき PET ボトル」

## ■海外の技術調査

チューリッヒで開催された Polyester & PET Chain 2012 にて、日本のリサイクル状況について発表を行うとともに、大型のソーティングセンター、メカニカルリサイクルの設備メーカーおよびその設備を導入した会社を訪問しました。ソーティングセンターの課題や日本に導入した際の問題点、最新のメカニカルリサイクル設備情報などを収集しました。

また、第7回中国リサイクルポリエステル国際会議に出席するとともに、台湾・中国のリサイクル工場を訪問しました。台湾では遠東新世紀社が BtoB 向けを中心にメカニカルリサイクル再生 PET を製造開始していました。一方、中国では BtoB の拡大は見られず、ギリシャユーロ危機による価格的影響はあるものの繊維へのリサイクルが引き続き主流でした。



Polyester & PET Chain 2012 での発表 (2012年2月16日)



台湾・中国 PET ボトルリサイクル調査 (2011年9月18日～24日)